

【A20】パラアスリートの支援を通じた共生社会の実現

この世界に生きる人々がそれぞれの「違い」を認め合い、共に活かし合う社会作り。

NTT ファイナンスはこれまでも、Diversity & Inclusion を意識した取組みを行ってきました。

一例として、埼玉県の与野オフィスでは、障がいを持つ社員が働きやすい環境づくり、特別支援学校との交流、能力開発センターや学会との意見交換など、地域に密着した取組みを推進しています。

そして新たに、共生社会の実現に向けた取組みとしてパラ水泳のアスリート選手の採用を行い、「Diversity & Inclusion の実現」を通して、「組織としてのさらなる成長」をめざしました。

僕は左腕に障がいを持っているんですが、水泳は子供の頃からずっとやっていたので社会人になっても続けられる方法を考えていた時に NTT ファイナンスとの面接の機会を得ることができました。

そこで印象に残ったのが、「自分が環境を与えられるだけじゃなくて、アスリート社員として自分がどう会社に貢献できるか」という視点での話もしてもらって、「自分も競技活動を通じて会社の力になりたい」と思えたことが入社決め手になりました。

業務面においては、新しい勤務形態をもって受け入れ態勢を構築していき、負担を取り除く工夫をしました。

慣れない勤務とハードな練習の両立は大変だったと思いますが、多くのレースに参戦し、着実にステップアップしていきました。

ハンディをものともせず業務の傍ら競技に打ち込んでいる彼の姿を見て、共生社会に対する気づきや彼を応援する気持ちが自然と生まれてきて、社員みんなの一体感が生まれてきました。

社員のリクエストに応え、社員専用の応援ページを独自に作ったり、公式サイト内に彼のオフィシャルサイトもオープンしたりしました。

また、主要な大会には社員が直接応援に駆けつけました。

全国各地の料金センターの社員と Web で結んだファンミーティングが開催されて直接会話をする事で窪田さんをより身近に感じることができました。

他にも「応援動画コンテスト」というのがあって、全社一体的な雰囲気を作りあげることができました。

それまでは全国規模でそういった意識を持つことはなかったんですけど、おかげで仕事における連携力もアップしたように思います。

やはり窪田君もいつでも調子がいい時ばかりではないのですが、様々な取組みを会社が行ってくれたことが、彼の力になったみたいです。

なにより窪田さんが活躍することでテレビやマスコミなどで取り上げられるようになり同じ会社の仲間として誇らしく、さらに彼を応援していこうという気持ちが社員に広がったように思います。

NTT ファイナンスは今回の「Diversity & Inclusion」の実現と「組織としての成長」の取組みを生かし、引き続き窪田選手への支援や、同じくパラアスリート採用を行なっている NTT グループ各社と連携した取組みを行い、共生社会の実現を支え、豊かな未来の構築に貢献していきます。